

第72回全日本勤労者弓道選手権大会
(青の煌めきあおもり国スポ弓道競技リハーサル大会)

大会出場の手引き

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会

第72回全日本勤労者弓道選手権大会を実施要項のとおり開催いたします。

本手引きには、日程や注意事項など重要事項が掲載されておりますので、ご熟読の上、大会への参加をお願いいたします。また、大会期間中は常に携行するようお願いいたします。

目次

1. 実施要項	2～4頁
2. 弓道競技規則抜粋	5頁
3. 大会スケジュール	6・7頁
4. 受付について	7頁
5. 公開練習・巻藁について	7頁
6. 監督会議・事前質問書について	8頁
7. 式典について	8頁
8. 競技について	8・9頁
9. 競技運行について	10頁
10. 記録等の連絡について	10頁
11. 注意事項	10・11頁
12. その他	11頁
13. 問合せ先について	11頁
14. 予選立順	12頁
15. 会場案内(会場図)	13～17頁

【各種様式】

事前質問書

第72回全日本勤労者弓道選手権大会実施要項

- 1 目 的 職域弓道の普及振興、弓道技能の向上及び相互の親睦を図るとともに弓道の発展に寄与することを目的とする。
- 2 主 催 公益財団法人全日本弓道連盟、弘前市
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会
- 3 後 援 青森県、青森県教育委員会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会
弘前市教育委員会、公益財団法人青森県スポーツ協会、公益財団法人弘前市スポーツ協会
公益財団法人日本武道館、日本武道協議会
- 4 主 管 青森県弓道連盟
- 5 期 日 令和7年5月30日(金)～ 令和7年6月1日(日)
- 6 会 場 青森県武道館
〒036—8101 青森県弘前市豊田2丁目3番地 TEL 0172—26—2200
- 7 競技種目 近的競技
- 8 競技種類 団体競技(1チーム3人立・2射場)
- 9 競技内容 的中制(坐射・直径36cm霞的)

10 競技日程

月 日	時 刻	内 容	会 場
5月30日(金)	13:00	審判会議	剣道場
	14:30	監督会議	剣道場
	16:00	開会式	剣道場
5月31日(土)	9:00	矢渡	近的弓道場
	9:40	第一次予選	近的弓道場
6月1日(日)	8:30	特別演武	近的弓道場
	9:05	第二次予選	近的弓道場
	12:10	決勝トーナメント抽選	近的弓道場
	13:00	決勝トーナメント	近的弓道場
	16:20	納射	近的弓道場
	16:45	閉会式	剣道場

11 競技方法

- (1) 第一次予選は、1チーム12射(各自4射1回)にて、7中以上を第二次予選進出とする。
- (2) 第二次予選は、1チーム12射(各自4射1回)にて、的中数の上位16チームを決勝進出とする。
- (3) 決勝は、1チーム12射(各自4射1回)のトーナメント法で行う。
但し、3～5位の順位決定戦は、1チーム6射(各自2射1回)の総射数法で行う。
- (4) 決勝進出決定及び決勝トーナメントにおいて同中の場合は、1チーム3射(各自1射)ずつの競射を行う。
- (5) 制限時間は、12射の場合は7分30秒以内。6射の場合は4分30秒以内とする。

12 監督・選手の変更及び欠員

- (1) 参加申込締切後の監督・選手の変更は、監督及び選手1名に限り認める。変更する場合は、参加チームにおいて所定の「監督・選手変更届」(別途配布)に必要な事項を記入後、所属する地連へ提出すること。地連は申込者の資格等確認の上、5月29日(木)までに参加申込先のメール、若しくは監督会議当日に受付へ提出すること。
- (2) 選手の立順変更は認めない。
- (3) 参加申込締切後、選手に欠員が生じた場合は、2名いれば出場を認める。

13 立射申請・取矢免除申請

- (1) 申請書の提出期限
 - ① 申請書は、4月11日(金)までに、関係書類を添えて参加申込先にメールで申請すること。
 - ② 4月12日(土)以降に申請が必要になった場合は、参加申込先に連絡をすること。
 - ③ 大会開催中に申請が必要になった場合は、大会本部に申し出ること。
なお、大会開催中の事故等の場合は、救護委員の立会で可否を判断する。
- (2) 申請にあたっては以下の証明できるものを添付すること。
 - ① 身体障害者の場合 … 身体障害者手帳の写し
 - ② 怪我・事故の場合 … 診断書の写し

14 表彰 優勝から5位までを表彰する。

15 参加資格

- (1) 同一の官公庁・会社に所属する者。但し、非常勤・嘱託を除く。
- (2) 監督・選手は、各都道府県弓道連盟から選抜又は推薦された代表チームとする。
- (3) チーム構成は、4人[監督1人(選手兼任も可)・選手3人]とする。
 - ① 監督・選手は、公益財団法人全日本弓道連盟ID番号を保有していること。
 - ② 監督・選手は、他チームとの二重登録はできない。
- (4) 参加チームの制限については、次のとおりとする。
 - ① 各都道府県は、2チーム以内。但し、開催都道府県は1チームの増枠を認める。
 - ② 前年度優勝チームは、上記①に関係なく出場できる。

16 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本実施要項による。

17 参加申込

- (1) 方法: 参加チームは所定の参加申込書に必要な事項を入力後、所属する地連へ提出すること。地連は申込者の資格等確認の上、締切日までに申込書を以下のアドレスにメール送信により申し込むこと。
参加料は、指定の口座に締切日までに振り込むこと。振込手数料は各チームの負担とする。
- (2) 注意点: 参加チームは申込に際し、所属地連の締切日に十分注意すること。
必ず地連が取りまとめて申し込みを行うこと。(各チームから直接申し込みはできない。)
- (3) 申込先: 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会 弓道競技リハーサル大会受付担当 宛
Mail: 2026kokuspo@city.hirosaki.lg.jp
- (4) 振込先: (銀行名) 青森みちのく銀行 北大通支店
(口座番号) 普通 3064911
(口座名義) 青森県弓道連盟 国スポ担当 成田王仁
(アモリケンキュウトウレンメイ コクスポタンノウ ナリタ オウジン)
- (5) 申込受付期間: 令和7年4月1日(火)～令和7年4月11日(金)必着のこと

18 **参加料** 1チームにつき、20,000円とする。なお、申込は入金をもって完了とする。
また、申込後の棄権チームには参加料を返金しない。

19 **宿泊・昼食弁当**

宿泊・昼食弁当の斡旋を行う。料金・申込方法等は、別に定める「ご宿泊・お弁当のご案内」による。

20 **輸送・交通** 宿泊及び会場へは各自で移動すること。会場内駐車場使用を希望するチームには
駐車許可証を1チームにつき1枚発行する。会場へのアクセス等の詳細は
「青森県武道館」のホームページ(<https://www.aomorikenbudoukan.com/>)で確認すること。

21 **注意事項**

- (1) 予選チーム立順は、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会及び青森県弓道連盟が抽選を行い決定する。
- (2) 練習会場として、競技会場の青森県武道館近隣の弓道場を5月30日(金)9時から15時まで開放する。
(練習は3人立・2射場、各チーム原則・各自4射1回とする。)
- (3) 競技の服装は、監督・選手とも弓道衣(白筒袖・黒袴・白足袋)とする。
- (4) チーム立順ゼッケン(配布)は、立順1番の選手が右前腰部に付けること。
- (5) 選手は、矢を6本(替矢2本を含む)用意すること。同中競射の1本目は、替矢を使用する。
- (6) 決勝トーナメントの組合せは、抽選により決定する。
- (7) 参加者はマイナ保険証等を持参すること。
- (8) 参加者を対象とした傷害保険に加入しないため、参加者各位においてスポーツ安全保険に加入することが望ましい。

22 **映像の取扱いについて**

個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないよう、十分に配慮すること。権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。なお、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会によって撮影した映像を中継・録画放映及びインターネット等に掲載することがある。

23 **大会申込書に記載される個人情報の利用目的について**

申込書の提出により、以降の関係資料について以下取り扱いの旨、承諾を得たものとする。ただし、下記(3)の月刊『弓道』・ホームページ・X(旧Twitter)への掲載に関しては、本人より不同意の申し出があった場合は、公開を停止する。

- (1) 大会プログラム並びに事務連絡文書への記載(氏名、勤務先、所属都道府県等)。
- (2) 大会結果報告への記載(氏名、勤務先、所属都道府県等)。
- (3) 公益財団法人全日本弓道連盟発行の月刊『弓道』・ホームページ・X(旧Twitter)への記載(氏名、勤務先、所属都道府県等)。
- (4) 青森県、報道関係、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関係しない。
関係法令を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

2. 公益財団法人全日本弓道連盟弓道競技規則【平成28年4月1日改定】

(第20条、第21条抜粋)

<p>第20条 【弓具の規定】</p> <p>使用する弓具は、伝統的な形状のものでかつ危険を及ぼす恐れのないものとする。</p> <p>(別紙20条 P-16 伝統的な弓具図解概要参照)</p> <p>(1) 弓は、日本弓(和弓)とし、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 長さは、221cm(7尺3寸)を標準とし、若干の長短は認める。</p> <p>(イ) 握りは、本弰から約3分の1の辺りにある。</p> <p>(ウ) 矢摺籐の長さは、籐頭より6cm以上とする。</p> <p>(エ) 照準のための装置や、矢摺籐に作為的な目印がない。</p> <p>(オ) 材質は、竹・木または新素材(グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。</p> <p>(2) 矢は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 長さは、各自の矢束に従い安全な長さとする。</p> <p>(イ) 籐の太さは、直径6mm以上とする。</p> <p>(ウ) 籐の材質は、竹または新素材(アルミ、グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。</p> <p>(エ) 羽根は、鳥の羽根を3枚使用し甲矢、乙矢の区別がある。</p> <p>(オ) 羽丈(羽根の長さ)は、近的競技は13cm~15cm、遠的競技は9cm~15cmとする。</p> <p>(カ) 羽山(羽根の高さ)は、5mm以上とする。</p> <p>(キ) 本矧、末矧および管巻がある。</p> <p>(ク) 管は、埋込式で管溝がある。</p> <p>(ケ) 管は、管溝以外の機能(蛍光、発光など)を有しない。</p> <p>(コ) 板付はかぶせ式とし、平題形、椎実形あるいは円錐形のいずれかである。</p> <p>(サ) 引込位置などを示す目印や類似のことがない。</p> <p>(3) 弦は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 撚って一本になっている。</p> <p>(イ) 材質は、麻または新素材などでもよい。</p> <p>(4) 檠(ゆがけ)は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 行射では、必ず右手に檠を着用する。</p> <p>(イ) 三つ檠、四つ檠あるいは諸檠のいずれかを使用する。</p> <p>(ウ) 控、帽子および弦枕がある。</p> <p>(エ) 材質は鹿革とする。</p> <p>(5) 補助具など</p> <p>伝統的な押手補助具や傷部保護のための包帯、テーピングを除き、押手にはその他の物を付けてはならない。</p>	<p>20</p> <p>* 弓具については使用目的や利用者の体格や技量などによって様々な種類があり、適切な選択が望ましく、競技の種類によっては大会要項で規定されることもある。新素材の弓具の使用は許容されるが、特に弓、籐、羽根、弦、檠の色彩については、武道の精神に鑑み、伝統的な色・柄が望ましく、けばけばしくないものとしたい。</p> <p>* 競技には日本弓を使い、洋弓を使用しないことを規定したものである。</p> <p>日本弓の標準的な長さは221cm(並寸)で、現在は6cm~18cm伸などがあり、また逆に3cm~12cm詰などがあるので、長短を認めることとした。日本弓の特徴は長弓であるとともに、握りの位置は、中心から下で全長の約3分の1の辺りにある。したがって「約」として規定した。</p> <p>籐の節は目印と見做さない。ただし作為的に籐の節目が目印となるような巻き方をしてはならない。</p> <p>* 日本弓に洋弓の特殊な形態をした羽根の矢、羽丈の短いもの、羽山の低すぎるものなど、伝統的な形態を損なっているものや鳥以外の材質のものは使用しない。「鳥獣保護に関する法律」を順守し、不法捕獲による鳥の羽根は使用を禁止する。</p> <p>* 中仕掛けに付ける伝統的な「探り(露)」は目印と見做さない。</p> <p>* 矢筈に関し、「管巻付き被せ式管」の使用は認める。</p> <p>ただし伝統的な形状でありかつ危険を及ぼす恐れがないことに十分注意すること。</p> <p>* 「諸檠・角入り三本檠」は、控があるものと見做す。中学生・高校生など初心者については「柔帽子、和帽子」の使用を認める。ただし習熟するに従いできるだけ早い機会に弦枕のある檠を使用することが望ましい。</p> <p>* 伝統的な押手補助具としては、押手檠(拇指、人差指の2本指と拇指のみの1本指)がある。</p>
<p>第21条 【服装の規定】</p> <p>1) 競技の服装は、弓道衣[筒袖、袴および白足袋]または和服[着物、袴および白足袋]とする。</p> <p>ただし競技によっては、大会要項で服装を規定できる。</p> <p>2) 下記の大会については男子女子ともに弓道衣[白筒袖、黒袴および白足袋]とする。</p> <p>(1) 全日本男子弓道選手権大会</p> <p>(2) 全日本女子弓道選手権大会</p> <p>(3) 全日本弓道遠的選手権大会</p> <p>(4) 全日本勤労者弓道選手権大会</p> <p>(5) 国民体育大会弓道競技会</p> <p>3) 弓道衣にマーク(氏名、チーム名、クラブ名および学校名など)を付ける場合は、筒袖および袴それぞれ1か所のみとし、その大きさは縦横10cm以内とする。</p>	<p>21</p> <p>* 服装の色合いについては、第21条2)と特に大会要項で定める場合を除き定めない。</p> <p>* 筒袖の袖の長さは、肘程度が望ましい。</p> <p>* 弓道衣下の下着は、無地とし、襟付き・ハイネックは好ましくない。</p> <p>* 初心者は、運動服着用を認めるが、前ボタン・前チャックの物は避けること。</p> <p>* 袴は、男子は腰板があるもの、女子は腰板のないものが一般的である。行燈袴は好ましくない。袴の裾は、足踏の姿勢で床面に着かないことが望ましい。</p> <p>* 国民体育大会少年種別の紺袴は大会要項により認める。</p> <p>* 弓道衣に会社の宣伝効果をねらった必要以上の大きさのマークをつけることは好ましくない。</p> <p>しかし、チーム名をつけることは逆に進行状況がわかり、ゼッケン替りになることもあり、また、選手は愛社心も出てくるので推奨したい。</p>

3. 大会スケジュール

(1) 大会日程

	予定時刻	青森県武道館 2階 近的弓道場	青森県武道館 1階 剣道場
5月30日 (金)	7:40	開館 (受付・観覧席)	
	8:00	公開練習 (8:00~14:40 まで)	
	13:00		
	15:00		
	16:00		
5月31日 (土)	8:00	開館 (受付・観覧席)	
	9:00	矢渡	
	9:45	第一次予選① 立順 1~40 (9:45~12:20)	
	12:20	昼食休憩	
	13:00	第一次予選② 立順 41~78 (13:00~15:30)	
	16:00	終了	
	6月1日 (日)	8:00	
8:30		特別演武	
9:05		第二次予選	
11:45		決勝トーナメント進出のため の同中競射	
12:10		決勝トーナメント抽選	
12:25		昼食休憩	
13:00		決勝トーナメント1回戦	
14:30		決勝トーナメント2回戦	
15:10		決勝トーナメント5位決定戦	
15:25		決勝トーナメント準決勝	
15:45		決勝トーナメント3位決定戦	
15:50		決勝トーナメント決勝	
16:20		納射	
16:45		閉会式 (表彰式)	

※上記時間帯は進行状況により開始時刻が前後するので注意してください。

※第4控までに選手及び監督が確認できない場合は失権となります。

※招集の開始時刻は原則として各競技の開始ならびに再開の15分前とします。

※1日(日)の決勝トーナメント進出のための同中競射は予選において上位16チームが確定しない場合のみ実施いたします。発生しない場合や競射が長引いた場合は決勝トーナメント開始時刻が変更となる場合があります。

(2) 予選の立順について

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会にて令和7年4月18日（金）に立順抽選を行い、「14. 予選立順」のとおり決定しました。各チーム立順を確認の上、予選に参加してください。

4. 受付について

- (1) 5月30日（金）7時40分から15時00分（監督会議前）までに、青森県武道館主競技場1階ホワイエ（観客出入口）の「②関係者受付（選手・監督）」でチームの受付を必ず行ってください。なお、大会プログラム、ADカード、チーム立順ゼッケン等は、当日配布します。
- (2) 前大会の優勝チームは優勝旗と盾を受付時に必ず持参してください。

5. 公開練習・巻藁について

(1) 公開練習

- ア **競技会場の近的射場を5月30日（金）8時から14時40分まで開放し、3人立2射場（競技も2射場）で行います。**
※実施要項には9時から15時まで開放としておりましたが変更いたします。
- イ **公開練習は受付順とし、受付は5月30日（金）7時40分から13時30分までとします。**
- ウ 公開練習は各チーム1回とします。
- エ 役員から指示があった場合は従ってください。
- オ 各チームは、射場外の控で待ち、前の立の遅い方の3番の3本目の弦音で入場してください。
- カ 坐射・1チーム12射（各自4射）で行ってください。
- キ 2射場とも同時進行とし、行射中止の指示は赤旗をもって行います。
- ク **最終受付は13時30分となっており、受付終了間近では公開練習ができなくなる場合がありますので、午前中の早い時間帯の受付をお願いいたします。**
- コ 状況により上記内容が変更されることがあります。

(2) 巻藁会場

期間中、青森県武道館1階補助競技場に巻藁を14台設置します。
自由練習とし、利用可能時間は次のとおりです。

○利用可能時間

- 5月30日（金）8時から15時まで
- 5月31日（土）8時から16時まで
- 6月 1日（日）8時から15時まで

6. 監督会議・事前質問書について

5月30日（金）15時から、青森県武道館1階剣道場にて行います。

質問がある場合は、「事前質問書」を5月23日（金）までにメール又はFAXで提出ください。

なお、当日の会議において、質問は受け付けませんので、ご注意ください。

※実施要項では14：30からとなっておりますが、15：00からへ変更いたします。

7. 式典について

(1) 開会式

5月30日（金）16時から青森県武道館1階剣道場にて行います。

大会に出場する選手及び監督は、可能な限りご出席ください。

次第	
1. 開式通告	6. 大会会長のあいさつ
2. 開会宣言	7. 歓迎のことば
3. 選手団紹介	8. 選手宣誓
4. 国旗、諸旗儀礼	9. 閉式通告
5. 優勝旗等返還	

(2) 閉会式（表彰式）

6月1日（日）競技終了後、青森県武道館1階剣道場にて行います。

入賞選手及び監督は、競技終了後速やかに射場控に集合し競技役員の指示に従ってください。

選手は弓道衣（白筒袖・袴・白足袋）を着用し参加すること。

次第	
1. 開式通告	5. 歓送のことば
2. 成績発表	6. 国旗、諸旗儀礼
3. 表彰	7. 閉会宣言
4. 大会会長のあいさつ	8. 閉式通告

8. 競技について

(1) 競技方法について

ア 射場区分 予選・決勝ともに2射場に分割して使用する。

イ 制限時間 12射の場合は7分30秒以内。6射の場合は4分30秒以内とする。

ア) 制限時間の計時は、進行委員の「始め」の合図により開始する。

イ) 制限時間30秒前に予鈴（1音）、制限時間超過時に本鈴（2音）で合図する。

ウ) 本鈴と同時に射離した矢は無効とする。

エ) 制限時間超過後に射離した矢は無効、残った矢は失権とする。

オ) 射場審判委員から行射停止指示が出た場合は制限時間の規定を適用しない。

カ) 自チーム内に起因する事故（弦切れ処理等）の場合は制限時間内で行う。

キ) 同中競射については制限時間を設けないが、行射の前後動作が殊更に間延びしないこと。

(2) 行射について

- ア 一手を持って行射するときは、取矢を行うこと。
- イ 次の矢は無効となり、「はずれ」として処理する。
 - ・矢番え完了（矢番えた後、右手を腰にとった時点）後に、筈が弦から外れた場合
 - ・打起し開始後に、射直した場合
- ウ 筈の破損による矢の交換は、矢番え完了前までは認める。矢を交換する際には選手が挙手で進行委員に申し出ること。
- エ 矢が幕に刺さったり横になったりした場合、他の射場に影響を及ぼさない限り競技を中断し矢取りを行わない。
- オ 選手は四つ矢のほか替矢2本を準備すること。決勝トーナメントにおける同中競射の1本目は替矢を使用する。
- カ 弦切れの場合は、監督又は監督代行が替弦を張る。
- キ 前の選手より先に射離した場合は、射場審判委員が無効を宣言し、「はずれ」として処理する。

(3) ゼッケン（チームワッペン等）について

チーム立順ゼッケンは、5月30日（金）の受付時に配布するので立順1番の選手が右前腰部に付けること。その他着用する場合は国民スポーツ大会に準ずることとする。
参考：全日本弓道連盟 HP (https://www.kyudo.jp/pdf/documents/about_wear.pdf)

(4) 弓具点検について

- ア 大会当日、第4控(競技会場2階 相撲場)にて弓具点検を実施するので、事前に点検し必要に応じ修理を行っておくこと。違反した場合は、失権と判定する。ただし修正されればこの限りではない。
- イ 弓道競技規則第20条〔弓具の規定〕、第21条〔服装の規定〕については、P. 5に記載しているので確認すること。

(5) 立射・取矢免除申請について

事情により立射ならびに取矢の免除を希望する場合は、「立射申請・取矢免除 申請書」に必要な事項を記入の上、証明書を添付し、参加申込先に連絡すること。
大会期間中に申請が必要になった場合は、「立射申請・取矢免除 申請書」に必要な事項を記入の上、証明書を添付し、②関係者受付（選手・監督）に提出すること。

(6) 出場選手及び監督の変更について

参加申込締切後の選手・監督の変更は、選手及び監督1名に限り認める。

また、変更とは別に選手と監督の入れ替えは、1度に限り認める。

- ア 「監督・選手変更届」に必要な事項を記入の上、「②関係者受付（選手・監督）」に提出すること。
- イ 選手等の変更・入れ替えは、5月30日（金）15時（監督会議開始時刻）まで認める。

(7) 監督の代行について

監督の兼任等で監督が入場できない場合は進行委員が替弦・替矢を携えて入場する。

9. 競技運行について

(1) 予選

選手は進行委員の指示に従い射場に入場する。(原則として前の立の遅い方の3番の3本目の弦音)

入場後は本座で跪坐をして待ち、進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は順次退場すること。

決勝トーナメント進出のための同中競射においても上記と同様に行う。

(2) 決勝トーナメント

選手は進行委員の指示に従い射場に入場する。(原則、前立の勝敗宣言後に退場する頃)

入場後は本座で跪坐をして待ち進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。

行射後は本座に戻り跪坐、進行委員の勝敗宣言の後、「起立、退場」の合図に従い退場すること。

(3) 監督の入場要領について

監督は自チームの3番に続き入場し、選手の跪坐と同時に着座すること。

10. 記録等の連絡について

本大会では、試合の進行状況及び記録を、Google スプレッドシートを利用して情報提供を行います。共有ファイルは、以下のシートに分かれており、試合の進行状況に合わせてデータ更新を行います。

- | | |
|----------|----------------|
| ① 一次予選 | ⑦ 決勝トーナメント抽選結果 |
| ② 一次予選結果 | ⑧ 決勝トーナメント1回戦 |
| ③ 二次予選立番 | ⑨ 決勝トーナメント2回戦 |
| ④ 二次予選 | ⑩ 決勝トーナメント準決勝 |
| ⑤ 二次予選結果 | ⑪ 決勝トーナメント決勝 |
| ⑥ 決勝進出射詰 | ⑫ 最終成績 |

上記の閲覧ファイルを読み込むQRコードは5月30日(金)の受付時にお渡しします。

※大会参加者以外の方にリンクを共有することは、ご遠慮ください。

※本大会では、メール、LINEによる配信は実施しません。

11. 注意事項

(1) 射場内にはぎり粉、筆粉の持ち込みを禁止する。

(2) 館内のADチェックエリアには監督と選手以外の者の立ち入りを禁止する。

出入りの際は、セキュリティ確保の為、受付時に配布するADの確認を行う。

また、前述のとおり、監督と選手以外の出入りを禁止する為、移動や応援の際も必ずADカードを着用すること。監督と選手以外は入館できないので、応援者等と面会の必要がある場合は、監督又は選手がADカードの不要な場所まで移動をすること。

- (3) 近的弓道場内の観覧席は狭いので、場所取りは禁止し、譲り合って使用すること。これらは応援者へも周知徹底を図ること。
- (4) 弓具及び貴重品等は各自で管理すること。会場内での物品の紛失については、一切責任をもたない。届けられた落し物については大会本部で保管する。
- (5) 飲食は、所定の場所で摂ること。(選手控所等)
- (6) 手洗い等の手指衛生や飛沫感染対策等の感染予防を心がけること。
- (7) 館内は土足厳禁。受付場所にて下足袋を渡すので、各自で管理すること。
- (8) 「矢羽の使用に関する準則」に該当する矢羽を使用する場合は、「矢羽の適正入手証明書(トレーサビリティ証明書)」を受付時に「②関係者受付(選手・監督)」で提示し、常に携帯すること。また、この準則に関して必要に応じて協力いただく場合がある。
- (9) 武道館建物の構造上、時間帯によっては日光が矢道を照らします。**

12. その他

- (1) 監督・選手、応援者等の喫煙は所定の場所にて行うこと。
- (2) 期間中、記録配信を行う。
- (3) 期間中、月刊「弓道」の取材のため、競技の撮影を行う。
- (4) 期間中、弓具修理所は設けないので、出店する弓具店で対応をお願いします。

13. 問合せ先について

事前のお問合せは、可能な限りメール又はFAXにてお願いします。

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会 弓道競技リハーサル大会担当

Eメール：2026kokuspo@city.hirosaki.lg.jp

電話番号：0172-40-0583 (直通)

FAX：0172-26-8146

14. 予選立順

第72回全日本勤労者弓道選手権大会 立順一覧表

立順	地連名	チーム名(略称)	一次予選	二次予選	立順	地連名	チーム名(略称)	一次予選	二次予選
1	栃木県	マレリ			41	山形県	山形県職員		
2	山口県	東ソー			42	徳島県	日亜化学工業		
3	大分県	大分県庁			43	山梨県	石原工業(株)		
4	青森県	日本原燃			44	滋賀県	滋賀県教職員		
5	茨城県	日立製作所茨城B			45	宮城県	東北電力宮城		
6	愛知県	愛知県庁			46	北海道	札幌市役所		
7	広島県	J F E 西日本福山			47	栃木県	安土矢		
8	佐賀県	佐賀県庁			48	広島県	マツダ		
9	鳥取県	米子市役所			49	神奈川県	J F E 東日本京浜		
10	茨城県	日立製作所茨城A			50	大阪府	パナソニック大阪		
11	宮崎県	都城市役所			51	東京都	東芝		
12	青森県	青森県教職員			52	高知県	技研製作所		
13	鹿児島県	九州電力鹿児島			53	兵庫県	神戸市役所		
14	岐阜県	川崎重工業岐阜			54	東京都	N T T 東日本東京		
15	岐阜県	イビデン			55	愛媛県	DCM		
16	岡山県	岡山市役所			56	静岡県	ヤマハ発動機		
17	岩手県	岩手県教職員			57	石川県	北國FHD		
18	愛媛県	今治市役所			58	静岡県	デンソー 湖西		
19	群馬県	協和キリン			59	徳島県	小松島市職員		
20	岩手県	東北電力 岩手			60	神奈川県	富士フイルム		
21	福岡県	福岡県警察			61	山梨県	山梨県警察		
22	大阪府	大阪ガス			62	北海道	函館市役所		
23	千葉県	千葉教職員B			63	福岡県	福岡県教職員		
24	滋賀県	z i p			64	富山県	北陸電力A		
25	千葉県	千葉教職員A			65	高知県	高知銀行		
26	青森県	八戸市庁			66	富山県	北陸電力B		
27	愛知県	トヨタ自動車			67	長野県	長野県南信教職員		
28	福井県	福井県庁			68	京都府	京都府支援学校		
29	埼玉県	ホンダ埼玉			69	奈良県	シャープ		
30	和歌山県	花王和歌山			70	長野県	ゴールドバック		
31	石川県	津田駒工業			71	兵庫県	グローリー		
32	熊本県	ルネサス川尻			72	大分県	大分キャノン		
33	宮崎県	住友ゴム工業			73	群馬県	SUBARU		
34	埼玉県	埼玉県教職員			74	三重県	中部電力・三重		
35	山口県	日本製紙 岩国			75	岡山県	クラレ		
36	奈良県	奈良県教職員			76	香川県	四国電力 香川		
37	長崎県	佐世保自衛隊			77	熊本県	YKK A P九州		
38	京都府	堀場製作所			78	鹿児島県	鹿児島県庁		
39	三重県	安永							
40	佐賀県	佐賀市役所							

15. 会場案内

(1) 青森県武道館近的弓道場・主競技場

〒036-8101 青森県弘前市大字豊田2丁目3

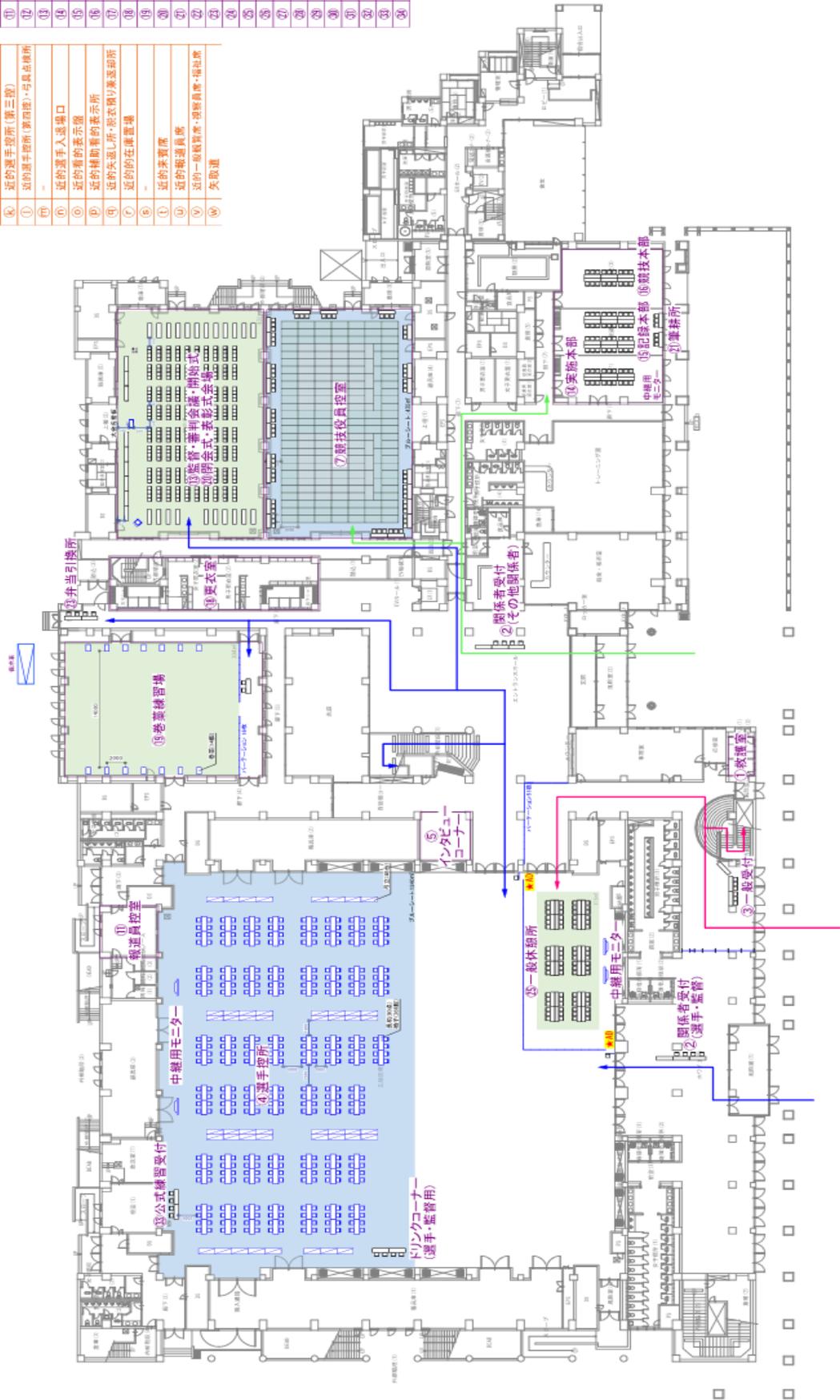
(2) 駐車場

- ・参加チーム用駐車場は、駐車許可証の地図中に図示されたスペースとする。
- ・車で来場する場合は、駐車許可証（カラー印刷したもの）を必ず持参し、駐車場係員が車外から確認できるよう、ダッシュボードの上に置いて入庫すること。
- ・駐車台数は各チーム1台とし、駐車許可証の複製は禁止する。2台以上で来場が必要な場合は、事前に問い合わせ先に連絡すること。

会場配置図【青森県武道館 1階】

馬道【ハール大会】	
①	控室
②	関係者受付
③	一般受付
④	選手控所
⑤	インタビューコーナー
⑥	来賓控室
⑦	競技役員控室
⑧	競技係員控室
⑨	競技補助員控所
⑩	-
⑪	報道員控室
⑫	観客員控室
⑬	監督・審判会議室(開始式)
⑭	美装本部
⑮	記録本部
⑯	競技本部
⑰	-
⑱	更衣室
⑲	更衣室控室
⑳	閉会式・表彰式会場
㉑	事務所
㉒	-
㉓	弁当控所
㉔	-
㉕	一般休憩所
㉖	売店
㉗	-
㉘	駐車場係控所
㉙	-
㉚	-
㉛	-
㉜	-
㉝	-
㉞	-
㉟	-
㊱	公式撮影受付
㊲	全庁撮影室

馬道【新設】	
㉞	近の計時・記録・放送
㉟	近の審判員席
㊱	近の監督席
㊲	近の監督席
㊳	近の進行員席
㊴	近の進行員席
㊵	近の審判員席
㊶	近の審判員席
㊷	近の選手控所(第一段)
㊸	近の選手控所(第二段)
㊹	近の選手控所(第三段)
㊺	近の選手控所(第四段)・弓具台係所
㊻	-
㊼	近の選手入場窓口
㊽	近の着の表示係
㊾	近の補助者の表示所
㊿	近の失返し所・更衣預り家返却所
㊿	近の在陣置場
㊿	-
㊿	近の来賓席
㊿	近の報道員席
㊿	近の一般観覧席・観客員席・福祉席
㊿	失敗道



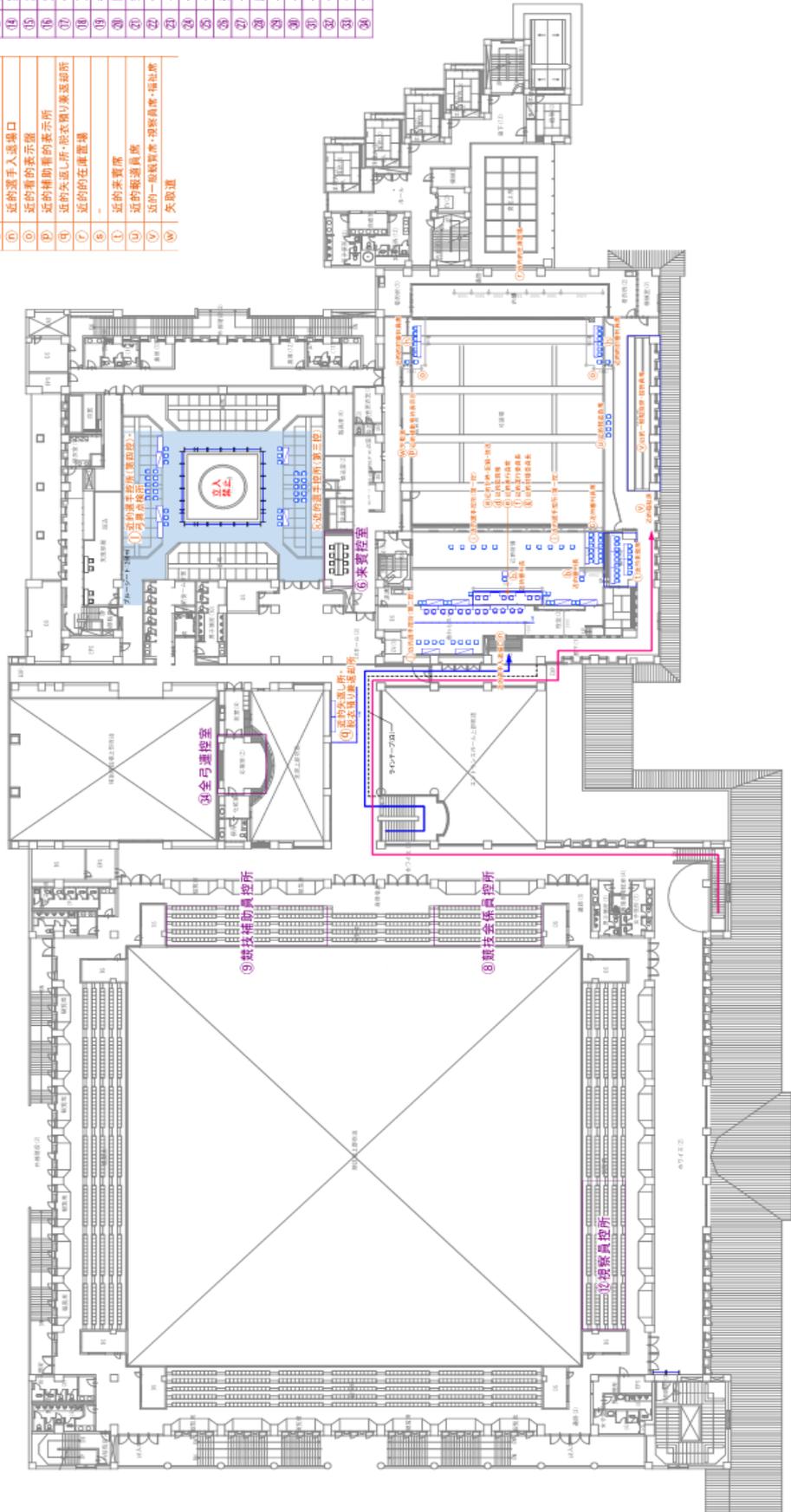
会場配置図【青森県武道館 2階】

馬道【近の】

- ④ 近の計時・記録・放送
- ⑤ 近の審判員席
- ⑥ 近の審判員席
- ⑦ 近の監視席
- ⑧ 近の進行員席
- ⑨ 近の進行委員長
- ⑩ 近の射撃委員長
- ⑪ 近の審判員席
- ⑫ 近の審判員席(第一控)
- ⑬ 近の選手控所(第二控)
- ⑭ 近の選手控所(第三控)
- ⑮ 近の選手控所(第四控)・与具品控所
- ⑯ 近の選手入場場口
- ⑰ 近の選手表示席
- ⑱ 近の補助席の表示所
- ⑲ 近の放送所・脱衣所/湯室控所
- ⑳ 近の在場置場
- ㉑ 近の本着席
- ㉒ 近の観戦員席
- ㉓ 近の一般観客席・退場員席・福祉席
- ㉔ 矢取道

弓道【ハルサル大会】

- ① 救護室
- ② 関係者受付
- ③ 一般受付
- ④ 選手控所
- ⑤ インタビューコーナー
- ⑥ 来賓控室
- ⑦ 競技役員控室
- ⑧ 競技会係員控室
- ⑨ 競技補助員控室
- ⑩ 報道員控室
- ⑪ 警察員控室
- ⑫ 観客・審判員席・開始式
- ⑬ 観客本部
- ⑭ 記録本部
- ⑮ 記録本部
- ⑯ 更衣室
- ⑰ 審判員控室
- ⑱ 開始式・表彰式会場
- ⑲ 事務所
- ㉑ 井当引換所
- ㉒ 一般休憩所
- ㉓ 売店
- ㉔ 駐車場係控室
- ㉕ 公式練習受付
- ㉖ 全弓連控室

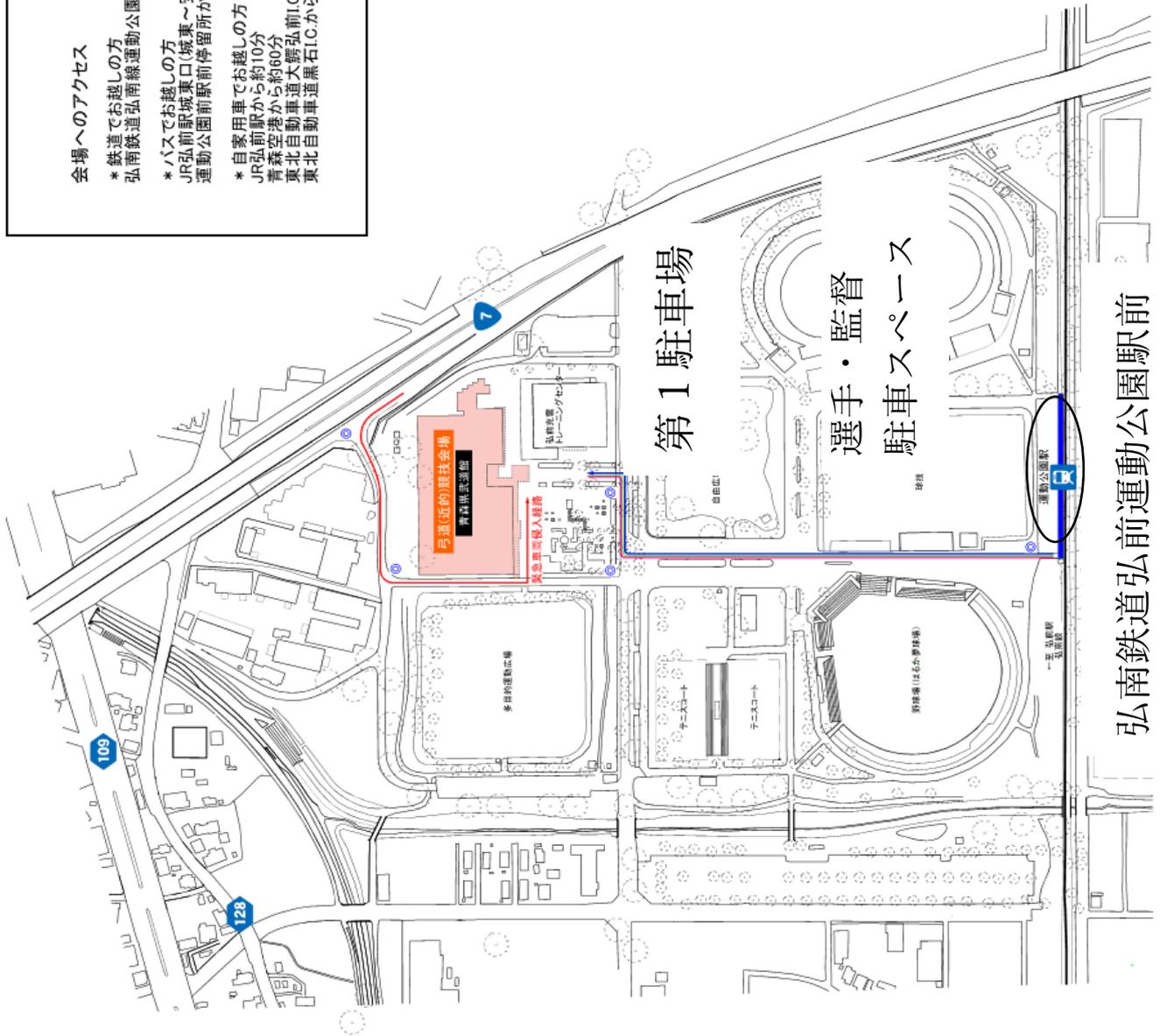


会場配置図【青森県武道館全体】



会場配置図【青森県武道館駐車場図】

- 会場へのアクセス
- * 鉄道でお越しの方
弘南鉄道弘南線運動公園駅から徒歩3分
 - * バスでお越しの方
JR弘前駅城東口(城東～安原線「アルカディア経由」)より乗車
運動公園駅前停留所から徒歩5分
 - * 自家用車でお越しの方
JR弘前駅から約10分
青森空港から約60分
東北自動車道大鰐弘前ICから約20分
東北自動車道黒石ICから約30分



弘南鉄道弘前運動公園駅前

